

科 目 名

生命倫理学 Pharmacy Ethics

1年 前期 1単位 必修

入 江 徹 美

概要・目標

生命に関わる職業人となることを自覚し、それにふさわしい行動・態度をとることができるようになるために、人との共感的態度を身につけ、信頼関係を醸成し、さらに生涯にわたってそれらを向上させる習慣を身につける。将来、有効で安全な医薬品を創製し（創薬）、医療において個々の患者に医薬品を適切に使用できるようになる（育薬）ために、薬剤師および薬学研究者としての必要な心構えを身につける。

授業計画

（括弧内に薬学教育モデル・コアカリキュラムの対応する到達目標を示す）

生命の尊さを認識し、人の誕生から死までの間に起こりうる様々な問題を通して医療における倫理の重要性を学ぶ。さらに、常に社会に目を向け、生涯にわたって医療を通して社会に貢献できるようになるために、以下の事項について討議し、必要なこころ構えを身につける。

1. 生と死
 - 1.1. 生命の尊厳（A(1)-1-1～1-5）
 - 1.2. 医療の目的（A(1)-2-1）
 - 1.3. 先進医療と生命倫理（A(1)-3-1）
2. 医療の担い手としての心構え
 - 2.1. 社会の期待（A(2)-1-1～1-3）
 - 2.2. 研究活動に求められる心構え（A(2)-2-1～2-3）
 - 2.3. 医薬品の創製と供給に関わる心構え（A(2)-3-1～3-2）
 - 2.4. 医療行為に関わる心構え（A(2)-4-1～4-2）
 - 2.5. 自己学習・生涯学習（A(2)-5-1～5-2）

授業方法

授業計画にあげた各項目について、教材および追加資料を用いて講義（示説）した後に、小グループ（10名程度）に分かれ、課題を設定し討論する（Learning through discussion, LTD）。その後、小グループ討論の結果を発表し、全体討論を通じて、互いの理解を深める。この繰り返して授業は進行する。

評価方法・基準

出席状況（20点）、グループ発表の内容（20点）、および e-ポートフォリオの内容（60点）を評価する。合計が60点に満たない者は不合格とする。再試験は行わない。

教 材

日本薬学会編 スタンダード薬学シリーズ第1巻「ヒューマニズム・イントロダクション」を教科書として使用する。さらに、学生が自主的に授業内容の理解を深めるために役立つ参考図書、最近の新聞報道、参考文献などを授業ごとに紹介する。

履修上の注意

生と死に関する記事や論文を読んで討議することで、人の意見を聞き、生命の尊厳について自分で深く考える態度を身につけてほしい。常に社会に目を向け、医療倫理に関する記事や論文を題材とした小グループ討論など LTD 学習を通して、自分の考え方を醸成してもらいたい。

事前学習

限られた時間の中で、広範な内容を取り扱いますので、是非、医療倫理に関係する報道や著書、身近な出来事に日頃から関心を持ち、予習をして授業に臨んで下さい。貴方の日々の努力で、小グループ討論の中身が深まります。

事後学習

毎回学習した内容を、e-ポートフォリオに整理・ファイリングしていくことで、自らの目標に対する到達度を意識する習慣を身につけて下さい。